

AMXとJAC ATR42-600 型機の共通事業機の運用を開始 **～JACのATR42-600 型機をAMXに貸し出すことで、重整備期間中の運休を回避～**

2018年5月28日
天草エアライン株式会社
日本エアコミューター株式会社
AMX/JAC 18-0601号

天草エアライン株式会社(本社:熊本県天草市、以下「AMX」)と日本エアコミューター株式会社(本社:鹿児島県霧島市、以下「JAC」)は、これまでも両社間で各種技術協力や販売協力を進めてまいりましたが、今般6月1日よりJACのATR42-600型機を両社の共通事業機としてAMXに貸し出す運用を開始することを計画しています(※1)。この運用開始によって、両社間の業務協力は更に深化し、AMXで従来発生していた重整備期間中の運休を回避することができることとなります。

【共通事業機 貸出期間】 2018年6月1日～同年6月25日(25日間)

【共通事業機 貸出機材】 ATR 42-600 型 JA01JC

両社は同じATR42-600型機を運航しており、2015年度からその導入準備や運航を協力する体制を築いてきましたが、この度、同型機の整備に関する業務の管理の受委託を行う体制を整えることで、JACのATR42-600型機をAMXに貸し出すことが可能となります。AMXはATR42-600型機1機しか保有していないため、従来は同機の重整備期間中は全便運休とせざるを得ませんでした。今回の共通事業機の貸し出しによって運休を回避することができます。

また、従来共通事業機の運用は、JALグループ内での運用に限られていましたが、今回JACがグループ外のAMXと運用開始することで、初のグループの垣根を越えた共通事業機の実現となります。なお、当該機には、貸出期間中、両者の協力体制(パートナーシップ)を表現する特別デカールが貼付されます。私たちは両社で進めてきた協力体制を更に深化させ、今後も両社の地域のお客さまの利便性向上に貢献してまいります。

※1: 発表時点では、国土交通省の実施する施設検査に合格することを前提としています。